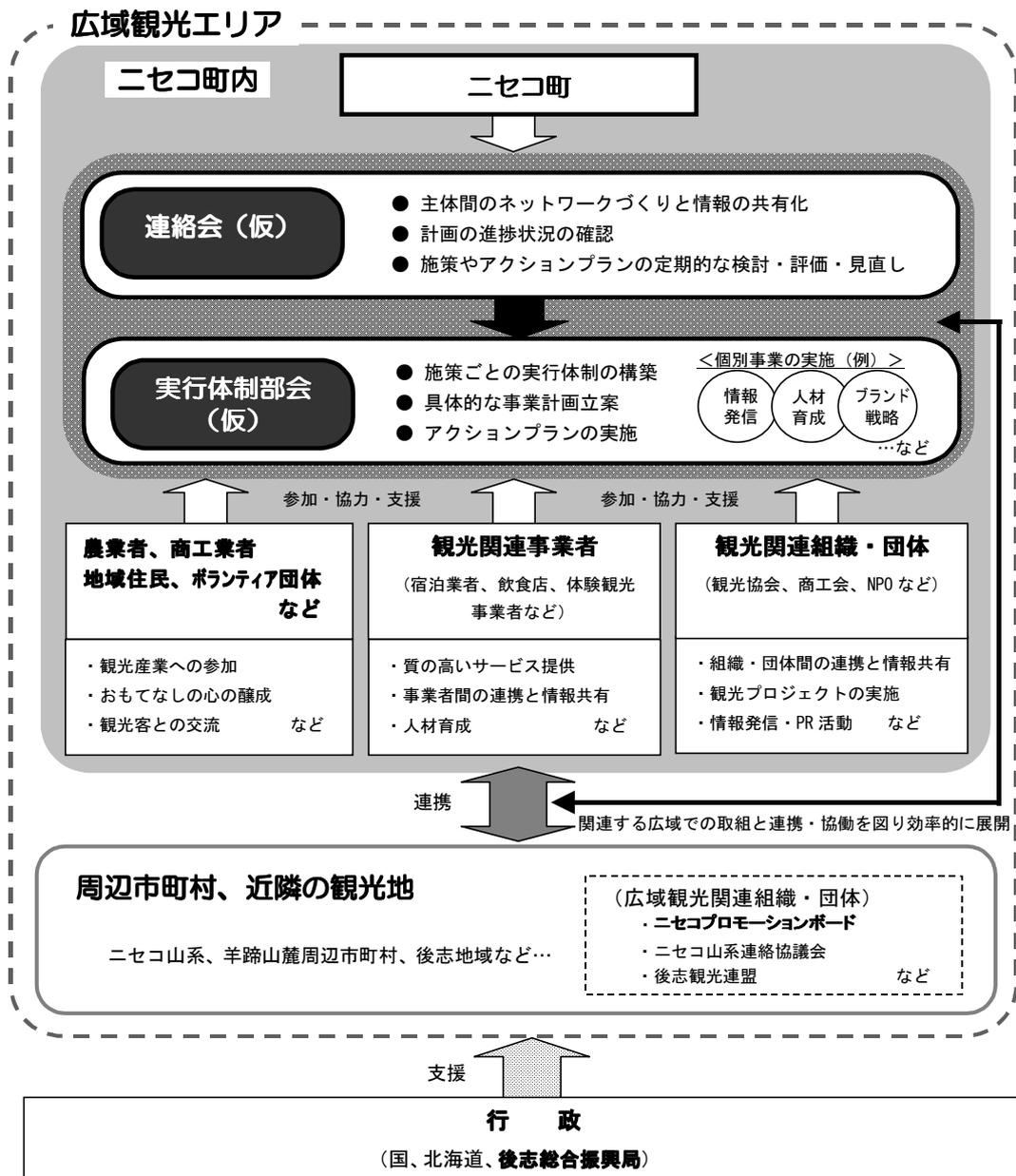


## 第4章 計画の推進体制とスケジュール

### 4-1. 推進体制

計画の推進にあたっては、観光事業者や観光協会をはじめとする観光関連組織、農業者、商工業者、町民、行政などの幅広い主体が連携し、それぞれの役割に応じて相互に協力し合うことが重要です。そのため、連携を確保するための主体間のネットワークづくりと情報共有を行うとともに、定期的な進捗状況の検証を行う体制（連絡会（仮称））を設置します。また、目標に沿った個別の施策は、実行体制部会（仮称）が核となり事業を推進していきます。

観光振興計画の推進体制



## 4-2. 施策の推進プログラム

施策ごとの実施時期と取組主体を以下に示します。

※取組主体は「観光事業者」「民間事業者」「町民・団体」「観光関連組織」「行政」に区分しました

◎：特に中心と考えられる主体

●：中心となる主体をサポートしていく主体

I. 環境との調和								
項 目	取組主体					実施時期		
	観光事業者	民間事業者	町民・団体	観光関連組織	行政	前期	中期	後期
①環境保全意識の醸成、保全活動の実施	●	●	◎	◎	◎	○		
②環境や景観に配慮したリゾート地づくり	◎	◎	●	●	◎		○	

II. 人材育成・交流								
項 目	取組主体					実施時期		
	観光事業者	民間事業者	町民・団体	観光関連組織	行政	前期	中期	後期
①観光や地元を学ぶ機会の創出	●	●	●	◎	◎	○		
②さまざまな知恵、技術を持つ人材の育成と活用	●	●	●	◎	◎		○	
③地域の力となる交流の場の創出	◎	◎	◎	●	●			○
④観光客を温かい心で迎える意識の向上	●	●	◎	◎	●		○	

III. 地域資源の活用								
項 目	取組主体					実施時期		
	観光事業者	民間事業者	町民・団体	観光関連組織	行政	前期	中期	後期
①観光資源の創出、見直し	●	●		◎	◎	○		
②地場製品の地域ブランド化	●	◎			◎			○
③観光事業所における地域内消費額の増加	●	●			◎		○	

IV. プロモーション活動の強化								
項 目	取組主体					実施時期		
	観光事業者	民間事業者	町民・団体	観光関連組織	行政	前期	中期	後期
①地域イメージの発信	●	●		◎	◎	○		
②観光情報の収集、発信の強化	●	●		◎	◎		○	
③地域情報の戦略的活用	●	●		◎	◎			○
④大規模な会議などの誘致	◎	●		●	◎		○	
⑤教育旅行の誘致強化と受入体制の充実	◎	●		●	●		○	
⑥映画やテレビ番組の撮影支援	●	●	●	◎	◎		○	
⑦各種視察旅行に対する支援	●	●	●	◎	◎		○	

V. 広域観光の推進								
項 目	取組主体					実施時期		
	観光事業者	民間事業者	町民・団体	観光関連組織	行政	前期	中期	後期
①広域的な視点を持ったリゾート地づくり	●	●		◎	◎		○	

VI. 受入れ環境の整備								
項 目	取組主体					実施時期		
	観光事業者	民間事業者	町民・団体	観光関連組織	行政	前期	中期	後期
①誰もが快適に利用できるリゾート地づくり	●	●		●	◎		○	
②公共交通の利便性の向上	◎	●		●	◎			○
③安全に配慮した観光地づくり	●	●			◎	○		
④事業者活動の活性化	◎			◎	●	○		

⑤きめ細かな施設整備の検討	●	●	●	●	◎		○	
⑥「道の駅」整備についての検討	●	●	●	●	◎		○	

Ⅶ. スポーツ観光の振興								
項 目	取組主体					実施時期		
	観光事業者	民間事業者	町民・団体	観光関連組織	行政	前期	中期	後期
①スポーツを目的とした旅行の促進	●	●	●	◎	◎		○	
②スポーツを快適に楽しめる環境の整備	◎	◎	●	●	◎		○	
③プロスポーツ団体との連携	●	●	●	●	◎		○	

Ⅷ. シニア層増加、総人口減少へのアプローチ								
項 目	取組主体					実施時期		
	観光事業者	民間事業者	町民・団体	観光関連組織	行政	前期	中期	後期
①ヘルスツーリズムの推進	◎	●			◎			○
②観光客1人当たりの消費額を増やす取組	◎	●	●	◎	◎		○	
③子どもや孫にも役立つ旅行の提案	●	◎		●	◎		○	

Ⅸ. ニセコに滞在する魅力の発信								
項 目	取組主体					実施時期		
	観光事業者	民間事業者	町民・団体	観光関連組織	行政	前期	中期	後期
①滞在を促進する観光メニューづくり	◎	●		◎	●			○
②ニセコ町での暮らしの紹介			●	◎	◎		○	
③環境にやさしい暮らしの紹介	●	●			◎		○	

分析資料編



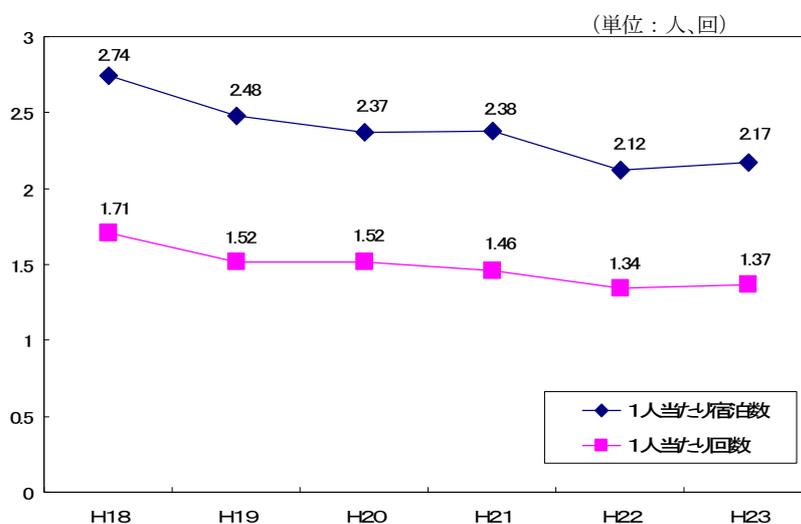
# 第1章 観光の現状

## 1-1. 全国的な観光の動向

### (1) 宿泊観光旅行の低迷

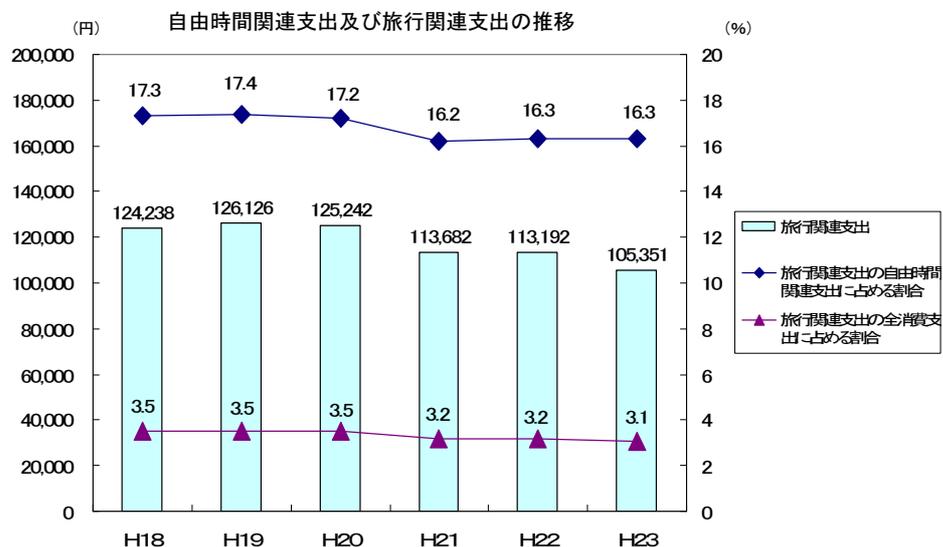
昨今の国民1人当たりの宿泊数及び国内宿泊観光旅行回数の推移をみると、緩やかな減少傾向をたどっており、国内旅行者の宿泊観光市場は縮小傾向にあります。

国民1人あたりの国内宿泊観光旅行の回数および宿泊数



出所：「観光白書」（観光庁）  
※平成23年の値は暫定値

また、総務省が実施した家計調査によると、景気の伸び悩みなども影響し、旅行関連支出は家計消費総額と連動して低下傾向にあります。一方、家計消費総額に占める旅行関連支出の割合は概ね横ばいになっており、生活における旅行の位置づけは消費支出面では変わっていないことがうかがえます。

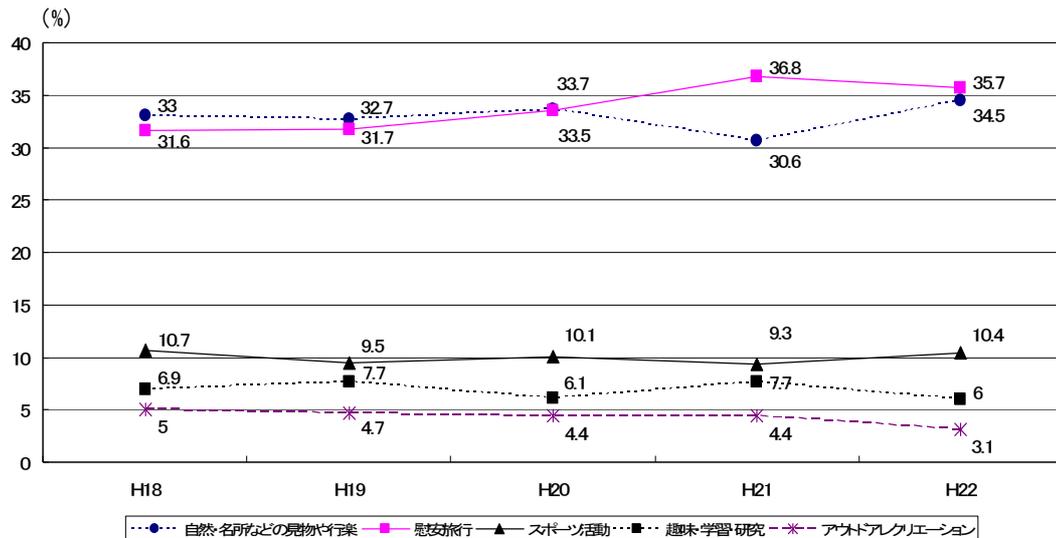


出所：「観光白書」（観光庁）

## (2) 国内旅行者の志向の多様化と個人化

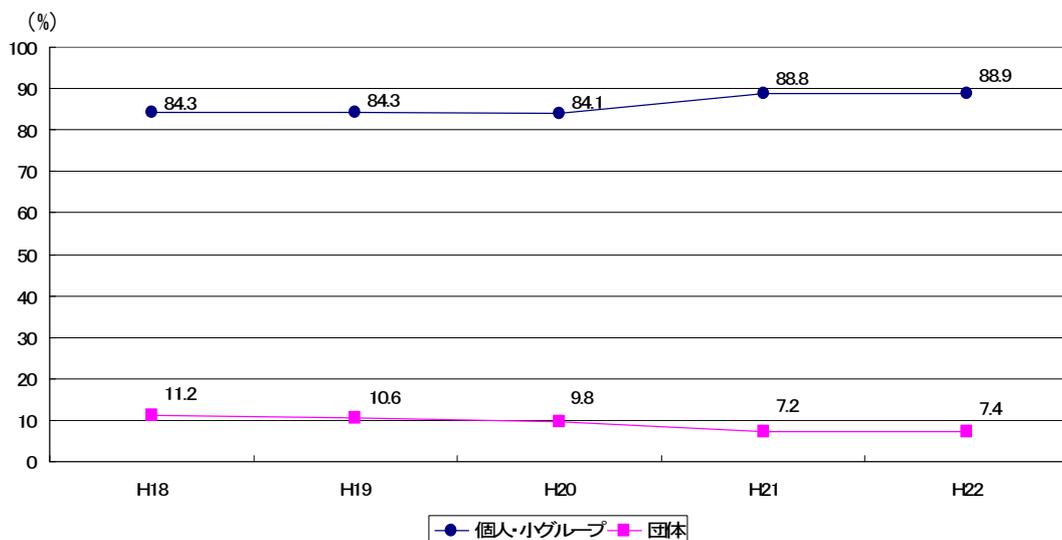
国内旅行者の主な旅行目的は、「慰安旅行」、「自然・名所などの見物や行楽」、「スポーツ活動」、「趣味・学習・研究」、「アウトドアレクリエーション」などがあり、「慰安旅行」、「自然・名所などの見物や行楽」で全体の3分の2を占めています。

宿泊観光旅行の主な旅行目的（上位5位）



また、旅行の同行者は職場、学校等の「団体」が減少する一方で、家族や自分1人、友人・知人による「個人・小グループ」による旅行が増加しており、国民の志向や旅行形態が多様化していることがうかがえます。

旅行の同行者

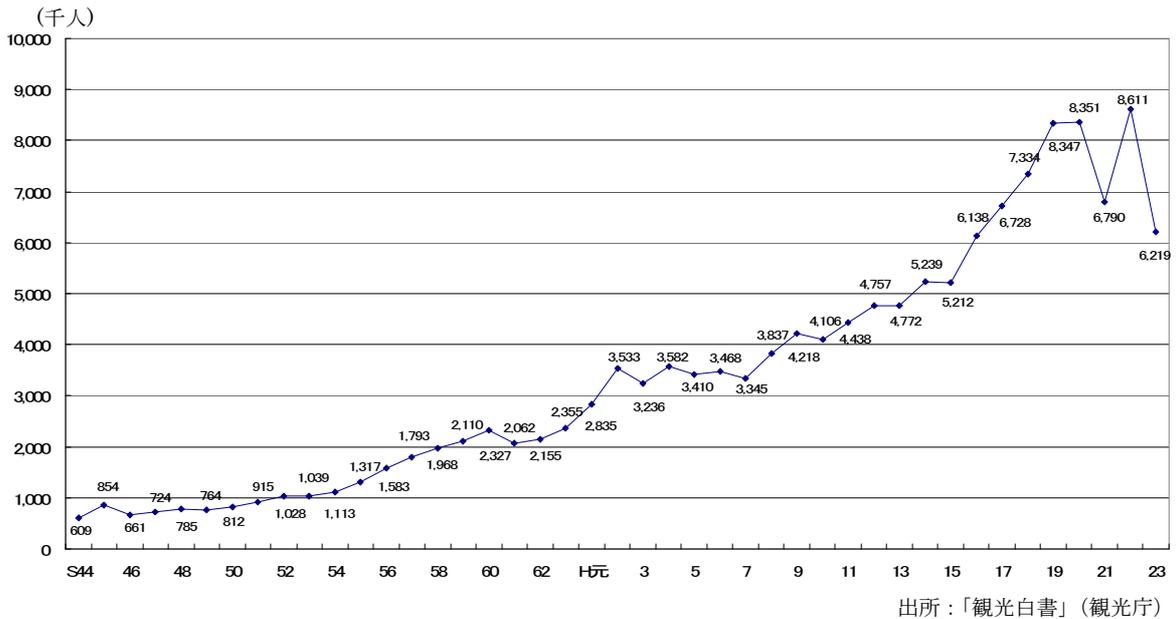


出所：「観光の実態と志向」（(社) 日本観光協会）

### (3) 訪日外国人旅行者数の推移

訪日外国人旅行者は、ビジットジャパン・キャンペーンの推進などの成果により、平成22年には約861万人（前年比26.8%増）と、過去最高を記録したものの、東日本大震災及びこれに伴う原子力発電所事故の影響などにより、平成23年は前年を大きく下回りました。

訪日外国人旅行者数の推移



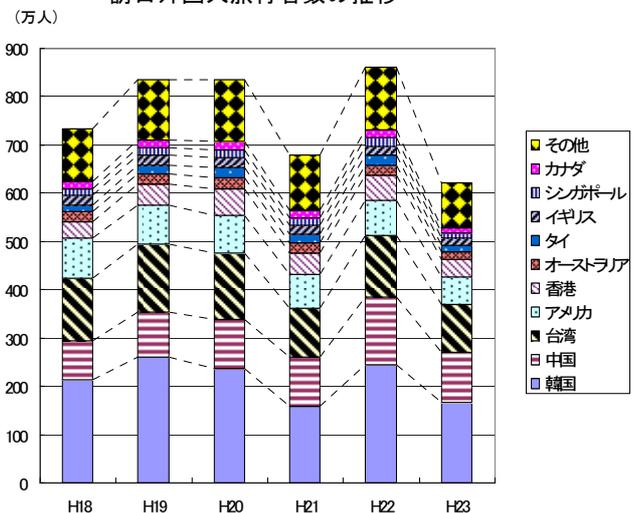
国・地域別にみると、平成23年の訪日外国人旅行者は、韓国が1位を占め、以下、中国、台湾、米国、香港の順となり、これら5カ国の旅行者数だけで、訪日旅行者数の74.4%を占めました。

平成23年は全ての国・地域で前年比減となりましたが、平成24年においては徐々に回復の傾向が見られることから、今後も訪日外国人旅行者は増加することが予想されます。

平成23年 国・地域別外国人旅行者数(上位10国)  
(単位：人)

区分	平成22年	平成23年	平成23年 前年比(%)	平成23年 構成比(%)
韓国	2,439,816	1,658,067	68.0	26.7
中国	1,412,875	1,043,245	73.8	16.8
台湾	1,268,278	993,972	78.4	16.0
アメリカ	727,234	565,887	77.8	9.1
香港	508,691	364,864	71.7	5.9
オーストラリア	225,751	162,578	72.0	2.6
タイ	214,881	144,969	67.5	2.3
イギリス	184,045	140,099	76.1	2.3
シンガポール	180,960	111,354	61.5	1.8
カナダ	153,303	101,299	66.1	1.6
その他	1,295,341	932,413	72.0	30.9
計	8,611,175	6,218,747	72.2	100.0

訪日外国人旅行者数の推移



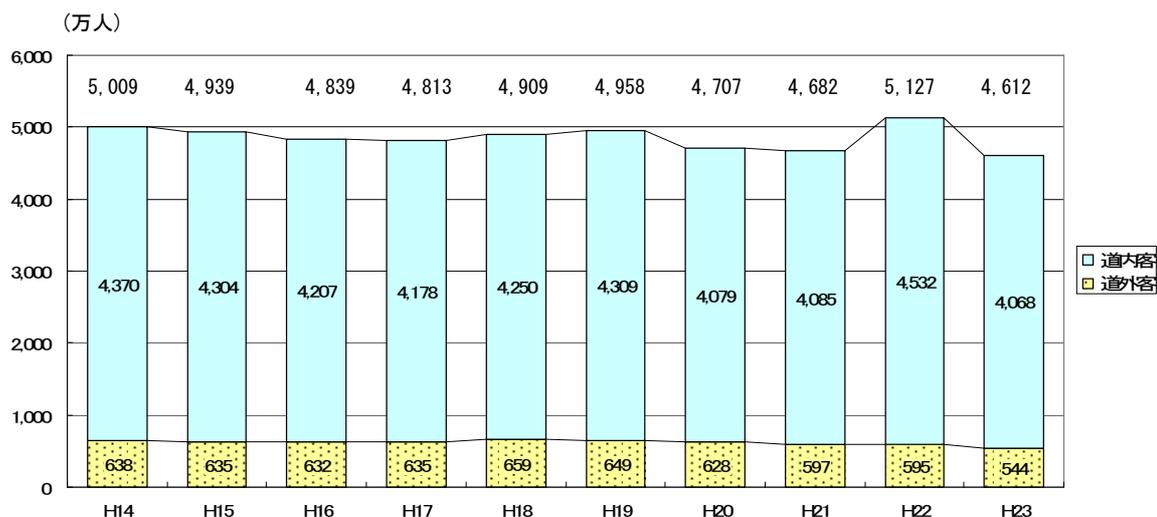
## 1-2. 北海道観光の動向

### (1) 観光客入込数の伸び悩み

ここ10年間の推移をみると、北海道の観光客入込み数は5,000万人を前後する水準で推移しており、長期的にみるとやや伸び悩んでいます。

観光客の内訳は、道内客が全体の9割近くを占めています。

観光入込み数の推移

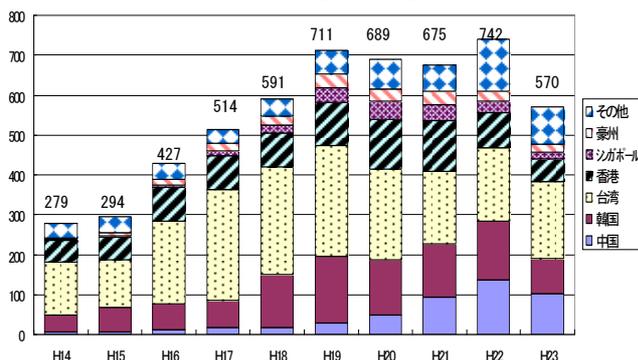


### (2) 外国人観光客の増加

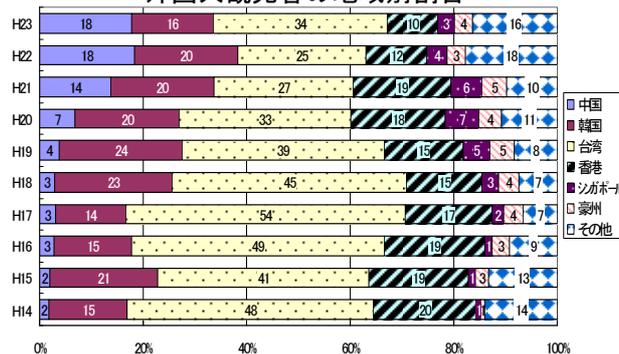
国内観光客数が伸び悩む中、来道している外国人観光客は着実に増加しています。平成14年に27万9,000人(実人数)であった外国人観光客数は、平成22年には約2.7倍の74万2,000人にまで増加しています。特にここ数年はオーストラリア人観光客数の増加が目立ち、平成14年には約2,000人であったものが、平成22年には11.5倍の約32,000人にまで急増しています。

また、地域別で見ると東アジア地域からの人観光客が全体の8~9割を占め、平成22年は、その中でも台湾(24.8%)、韓国(20.1%)、中国(18.3%)が上位を占めています。

外国人観光客数の推移



外国人観光客の地域別割合



## 第2章 ニセコ町の観光を取り巻く現状と課題

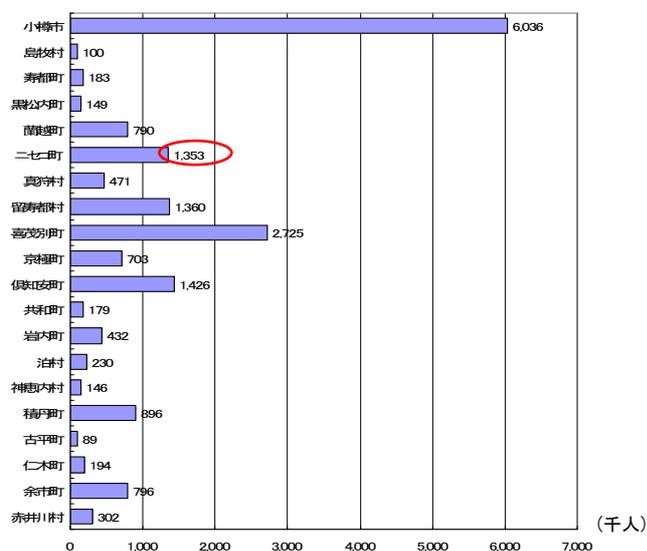
### 2-1. ニセコ町及び周辺観光の現況

#### (1) 観光客の動向

##### ① 観光客の入り込み状況

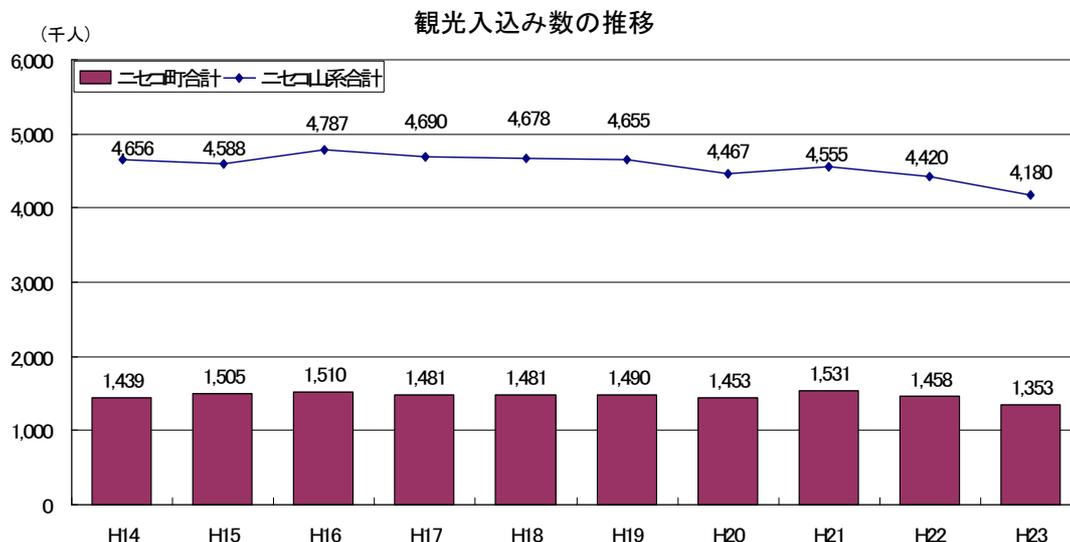
平成23年の後志管内の市町村別に観光入込客数の内訳をみると、小樽市が約604万人と最も多く、ニセコ町は約135万人と、喜茂別町（約272万人）、倶知安町（約143万人）、留寿都村（約136万人）に次いで、管内5番目の入込数となっています。

平成23年度 後志管内市町村別観光入込客数



出所：「北海道観光入込客数調査報告書」（北海道）

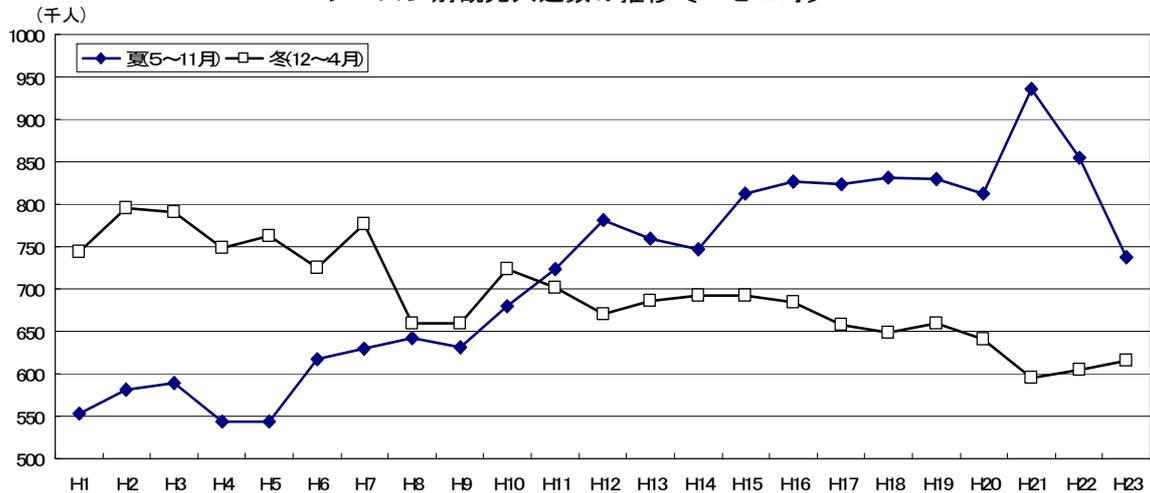
ニセコ町における観光客入込数の推移をみると、ここ10年程度はほぼ横ばいとなっています。また、ニセコ山系（※）の合計をみても、同じ傾向となっています。※）ニセコ山系：ニセコ、蘭越、倶知安、岩内、共和の5町



出所：「北海道観光入込客数調査報告書」（北海道）

季節別による観光客入込数をみると、以前はスキー観光が主体であったため冬季（12～4月）が夏季（5～11月）を上回っていました。しかし、平成11年以降はラフティングなどのアウトドアアクティビティや豊富な体験メニューが注目されるようになり、夏季が冬季を上回るようになりました。

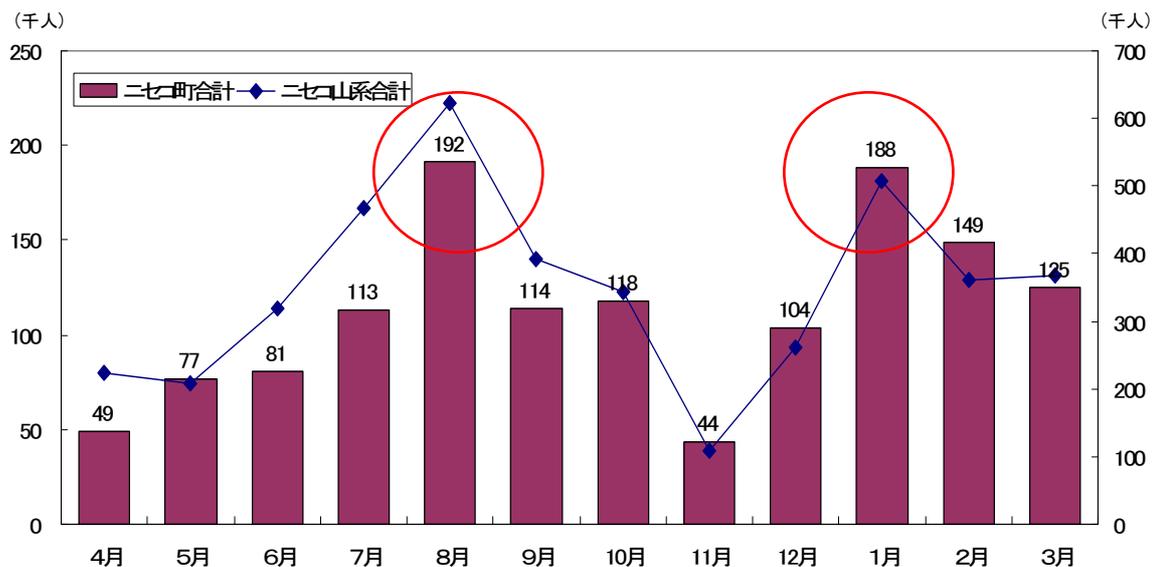
シーズン別観光入込数の推移〔ニセコ町〕



出所：「北海道観光入込客数調査報告書」（北海道）

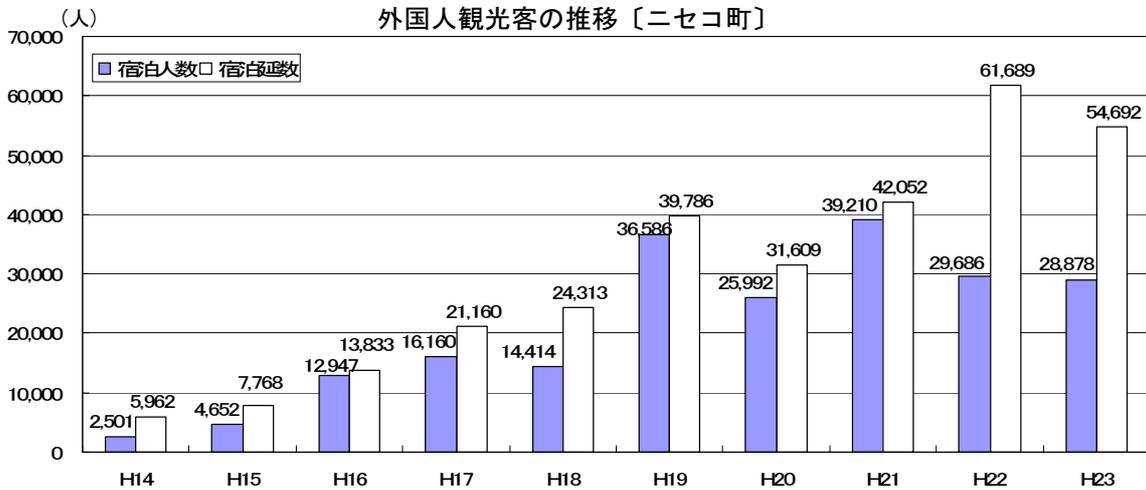
また、ニセコ町における月別観光客入込数は、アウトドアなどを楽しめる8月とスキーシーズンである1～2月にピークを持つ二峰型になっています。なお、ニセコ山系全体も同様の傾向になっています。

平成23年度 月別・観光入込み状況



出所：「北海道観光入込客数調査報告書」（北海道）

平成23年度のニセコ町における外国人観光客数は2万8,878人と、9年前の平成14年度と比べて約1.1倍にまで増加しています。

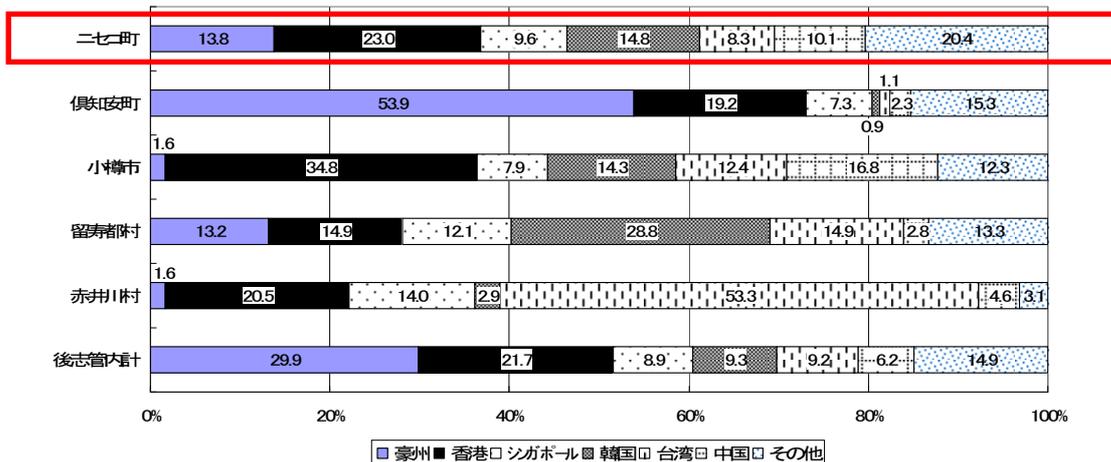


後志管内の市町村別に宿泊延数を比較すると、上位5市町村で管内宿泊延数の99.7%を占めています。1位は倶知安町で12万8,996人となっており、ニセコ町は5万4,692人(2位)で、対前年度比88.7%となっています。

また、ニセコ町に訪れている外国人観光客を国別でみると、香港が23%と多く、次いで韓国(14.8%)、オーストラリア(13.8%)となっています。

後志管内における宿泊延数上位5市町村と来訪国の構成割合(平成23年度)

区分	宿泊客延数	対前年度比	構成比
1位 倶知安町	128,996人	68.9%	46.7%
2位 ニセコ町	54,692人	88.7%	19.8%
3位 小樽市	39,176人	70.4%	14.2%
4位 留寿都村	35,309人	75.7%	12.8%
5位 赤井川村	17,166人	103.7%	6.2%



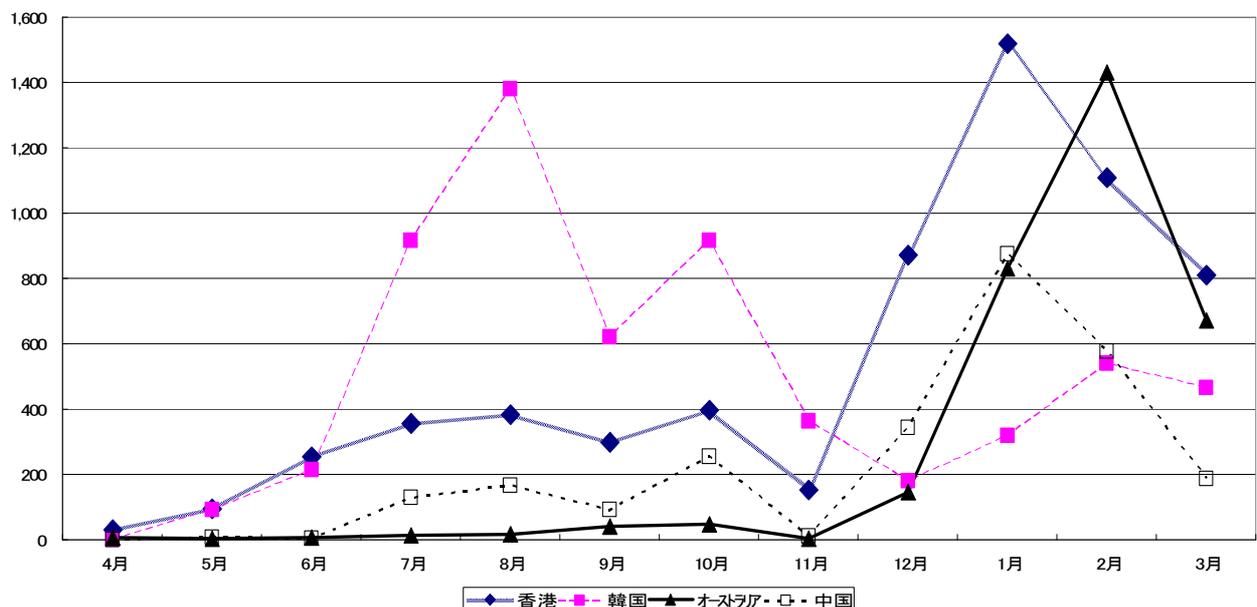
外国人観光客宿泊延数を季節別にみると冬季の人气が高く、ニセコ町での冬季宿泊延数の割合は79.8%となっています。この傾向は後志管内の市町村で共通となっており、特に倶知安町は冬季宿泊延数の割合が97.6%と高くなっています。

季節別外国人宿泊延数の状況（後志管内における宿泊延数上位5市町村）

区 分		春	夏	秋	冬
		(4~5月)	(6~9月)	(10~11月)	(12~3月)
倶知安町	宿泊延数	573	1,948	548	125,927
	構成比	0.4%	1.5%	0.4%	97.6%
ニセコ町	宿泊延数	506	6,677	3,859	43,650
	構成比	0.9%	12.2%	7.1%	79.8%
小樽市	宿泊延数	1,668	10,839	4,496	22,173
	構成比	4.3%	27.7%	11.5%	56.6%
留寿都村	宿泊延数	323	9,488	664	24,834
	構成比	0.9%	26.9%	1.9%	70.3%
赤井川村	宿泊延数	581	5,574	2,355	8,656
	構成比	3.4%	32.5%	13.7%	50.4%
後志管内計	宿泊延数	3,661	34,977	11,964	225,344
	構成比	1.3%	12.7%	4.3%	81.7%

次に、ニセコ町への来訪者数が多い上位4国（香港、韓国、オーストラリア、中国）の宿泊人数を月別・国別にみると、韓国からの宿泊客は7、8月をピークとする夏季に多く、冬季は夏季に比べ約5割と少なくなっています。一方、香港やオーストラリアからの宿泊客数は冬季に多く、1～2月ごろがピークになっています。

ニセコ町における月別・国別の外国人宿泊人数（平成23年度）



## (2) ニセコを訪れる観光客の傾向

ニセコ・羊蹄観光マーケティング調査（平成16年度 北海道経済産業局）により実施したアンケート調査（詳細は「その他資料編」資料3を参照）によると、ニセコエリアに訪れた観光客の傾向は次のように整理することができます。

### ①観光客の居住地

ニセコを訪れる観光客を居住地別で分けると、夏季は道内客が6割、道外客が4割となっており、冬季には道内客が7割、道外客が3割と道内客の割合が高くなっています。また、その内訳をみると、道内客の5割弱は札幌から、道外客の5割強は関東地方から訪れています。

### ②夏季の顧客層

夏季に訪れる道内客は日帰り・宿泊ともに50～60歳代の熟年層、夫婦旅行が多くなっています。特に日帰り客は熟年層の割合が6割近くと高く、宿泊客では40代前後の夫婦やファミリー層が訪れています。また、道外客は一般的に子ども連れが多いとされる30～40歳代の割合が高く、家族旅行や夫婦旅行など多くなっています。

### ③冬季の顧客層

冬季に訪れる道内客は日帰り・宿泊ともに夫婦旅行が2～3割と最も多く、続いて友人や知人、小さな子ども連れなどが多くなっています。日帰り客は夏季と同様に熟年層が最も多くなっていますが、宿泊客では20～30歳代の若者が多くなっています。また、道外客も20～30歳代の若者が多く、友人や知人、夫婦旅行などで訪れています。

### ③道内客はリピーターが多く、道外客は「初めて」が多い

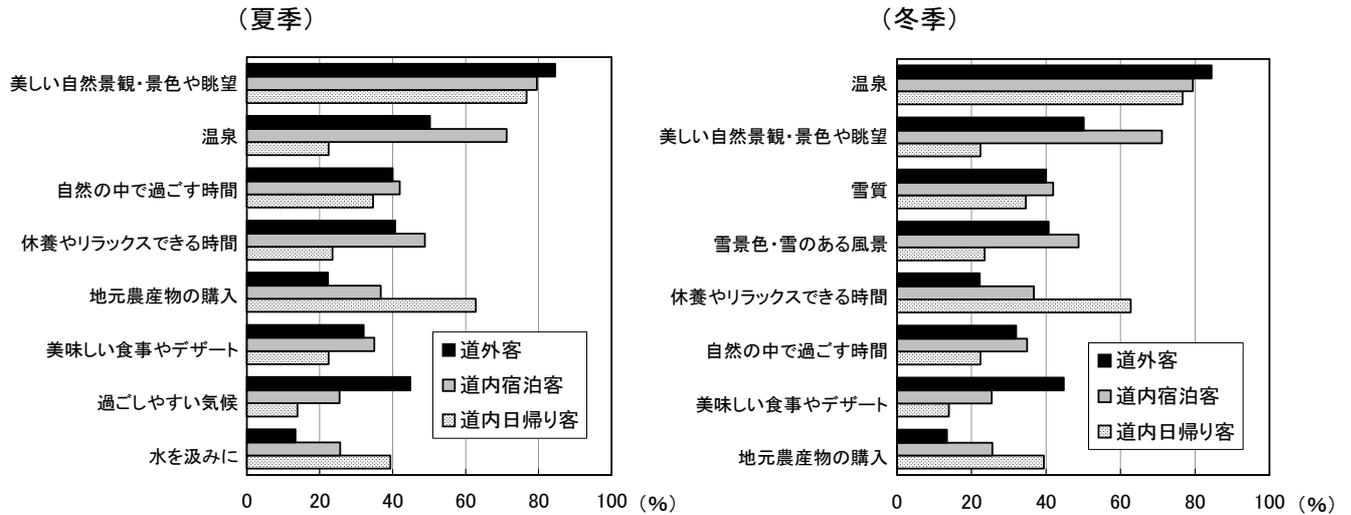
夏季・冬季ともに道内日帰り客はほぼ全員がリピーターになっています。また、道内宿泊客も6～7割がリピーターとなっています。一方、道外客は、初めての来訪が4～5割となっています。

## (3) ニセコに対する観光地イメージ

観光客が抱くニセコに対する期待は「美しい自然景観・景色や眺望」、「温泉」、「自然の中で過ごす時間」、「休養やリラックスできる時間」といったもので、「ゆったり」、「癒し」、「リラックス」といったキーワードがあてはまります。

また、冬季は「温泉」や「雪質」などへの期待が高くなっています。

### 観光客来訪時の期待



出所：「ニセコ・羊蹄観光マーケティング調査」（平成16年度 北海道経済産業局）

一方、北海道内におけるニセコのイメージは、次のようになっており、自然、温泉、食に対しては評価を受けていますが、全体的に他の観光地と比べてイメージやインパクトが弱いという結果になっています。

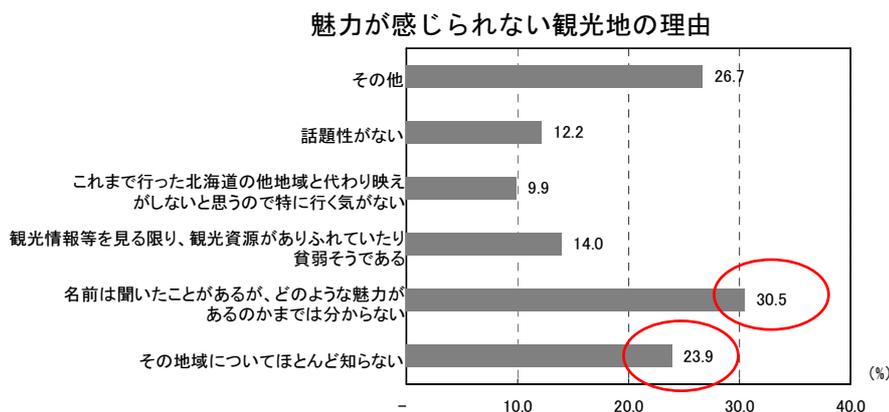
### 北海道内における観光地のイメージ

調査年次	観光地名	自然や風景が素晴らしい	歴史や文化が素晴らしい	他にない見どころがある	見るものが多くバラエティ豊富	街並みが素晴らしい	祭りや伝統芸能や特産品がある	いい温泉がある	おいしい食べ物がある	その地ならではの活動や楽しみがある	いろいろな活動や楽しみがある	いい宿泊施設がある	気候がよく居こちがよい	地域の人のふれあいがある	にぎやかで楽しい	独特の雰囲気がある	清潔さや美しさが保たれている
2005	知床	●		□					□								
2005	川湯	■						●									
2005	阿寒湖	●						□									
2007	ニセコ	●						□	□								
2008	富良野	●		□					□				□			□	□
2005	美瑛	●							□								
2006	旭川	■		□					■								
2008	札幌	□			□	□			●						□		
2007	定山渓	●						■				□					
2008	小樽	■	□	□		■			■							□	
2006	登別							●	□			□					
2008	洞爺湖	●						□				□					

●: 選択率50%以上 ■: 選択率30%以上 □: 選択率10%以上

出所：「旅行者動向調査」（(財)日本交通社）

また、「北海道地域におけるマーケティングを重視した観光振興方策に関する調査」(北海道)で行ったアンケート調査結果によると、道内において「今まで訪れたことがないが、わざわざ訪れるほどの魅力は感じられない観光地」として回答が多かったのは、旭川 20.6%、網走・紋別 16.3%に次いでニセコ 12.5% (以下、帯広・十勝 10.3%…)、となっています。その理由は、「名前は聞いたことがあるが、どのような魅力があるのかまでは分からない」30.5%、「その地域についてほとんど知らない」23.9%と、観光地としての情報発信不足がこの評価の大きな要因になっていると考えられます。



出所:「北海道地域におけるマーケティングを重視した観光振興方策に関する調査」(北海道)

#### (4) 来訪者の満足度

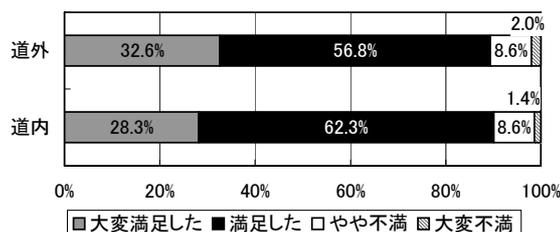
##### ①ニセコ・羊蹄地域振興計画策定調査(平成17年)

「ニセコ・羊蹄地域振興計画策定調査」(平成17年 財団法人北海道地域総合振興機構)によると、ニセコを訪れた観光客の「宿泊」「食事」「買物」についての満足度は、各項目ともに「やや不満」と「大変不満」の合計が1割を超えており、満足度が高いとは言えない結果となっています。

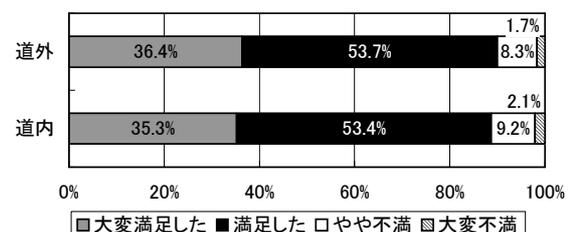
- 宿泊 (やや不満+大変不満=10.1%【夏季】、10.7%【冬季】)
- 食事 (やや不満+大変不満=11.5%【夏季】、17.7%【冬季】)
- 買物 (やや不満+大変不満=13.1%【夏季】、27.7%【冬季】)

#### ●宿泊に対する満足度

〔夏季〕 N=1,034

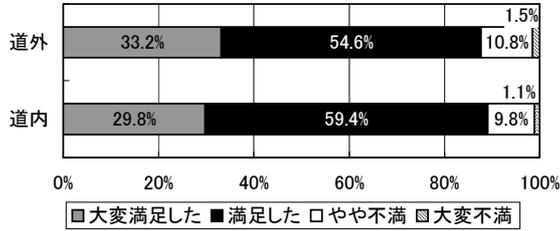


〔冬季〕 N=852

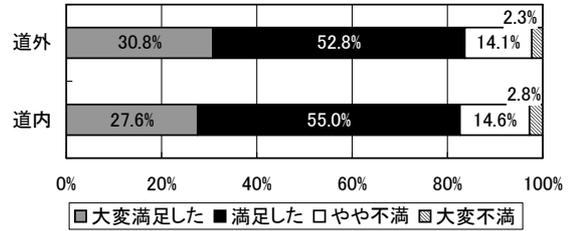


●食事に対する満足度

[夏季] N=1,347

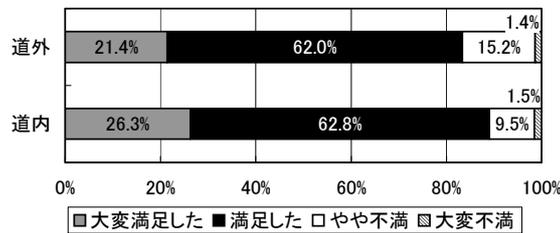


[冬季] N=1,082

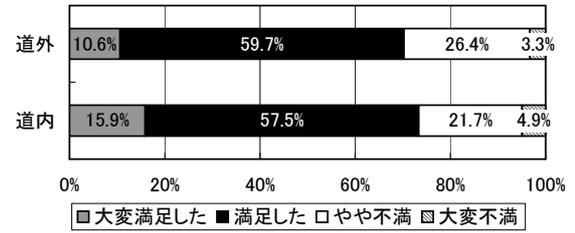


●買物に対する満足度

[夏季] N=1,312



[冬季] N=871

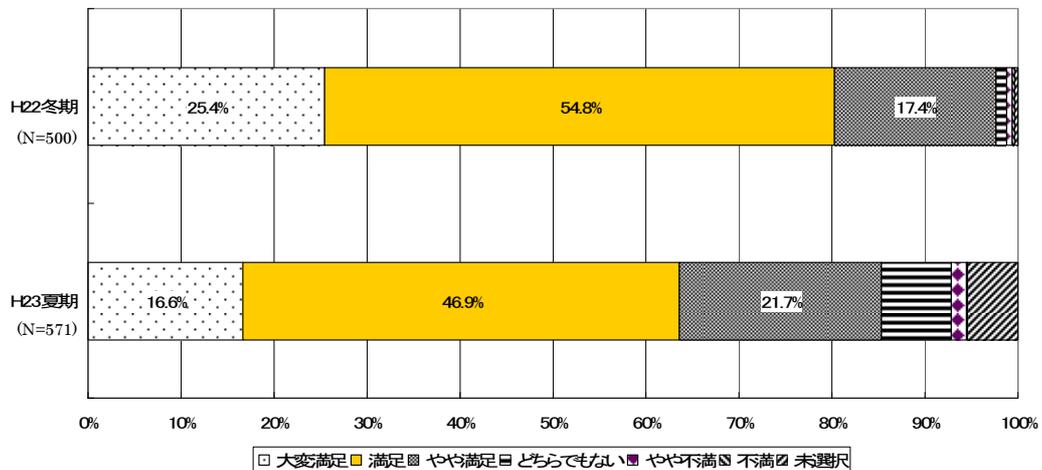


出所：「ニセコ・羊蹄地域振興計画策定調査」（平成17年 財団法人北海道地域総合振興機構）

②観光客満足度調査（平成22年冬期、平成23年夏期）

「観光客満足度調査」（平成22年冬期、平成23年夏期 両調査ともに株式会社ヤマト、財団法人日本交通公社）によると、ニセコを訪れた観光客の総合満足度において、「大変満足」と回答した観光客は夏期16.6%、冬期25.4%となっており、冬期観光資源（パウダースノー等）の無い夏期は有意に低くなっています。

滞在の総合満足度



## (5) 観光客の周遊状況

ニセコは、札幌や小樽、洞爺・登別・支笏湖といった道央圏の観光ルートの中継地となっているほか、道内各地へ周遊する場合にも立ち寄られています。

北海道旅行の主流は、依然として複数の観光地を駆け足でまわる周遊型になっています。特に夏季は、夕方にホテルや旅館に到着し、翌日の朝には次の観光地へと移動するといった通過型が多くなっており、ニセコでの滞在時間をゆっくりと楽しむことができない旅程になっています。



ニセコエリアに訪れた観光客のその他の訪問地

出所：「北海道観光産業経済効果調査」  
(平成12年 北海道観光産業経済効果調査委員会)



## (2) 主な観光資源及び施設の立地状況

分類	一般名称	説明文
景観	羊蹄山（えぞ富士）	典型的なコニーデ式火山。山頂(1,898m)からは日本海、太平洋が望める。支笏洞爺国立公園に属しており、日本百名山の1つに選ばれている
	ニセコ連山	ニセコアンヌプリ(1,308m)を主峰に、イワオヌプリ、ワイスホル、チセヌプリ、岩内岳、目国内岳、雷電山、他の山々で構成されており、山麓や中腹には、湖沼や高層湿原が点在する
	昆布岳	ニセコ町の南側に位置し、特徴的な形の山頂を持つ山。山頂(1,045m)からは、町内はもとより内浦湾や道南地方の山々を見渡すことができる
	尻別川	支笏湖との分水界をなすフレ岳(伊達市・標高1,048m)を源とし、伊達市、喜茂別町、京極町、倶知安町、ニセコ町、蘭越町を流れ日本海に注ぐ長さ126km、流域面積約1,640平方kmに及ぶ一級河川。清流日本一(環境省)の川でもある
	田園風景	町内広範に広がる農地は、四季折々の自然や山々の遠景と重なり、美しい田園風景を織りなす
	ふるさと眺望点	ニセコ町景観条例により、ニセコ町内の優れた景観を眺望できる場所を「ふるさと眺望点」として指定。現在は2ヶ所を指定。 ○ニセコ町字曾我 ・景観要素：2本のさくらんぼの木、羊蹄山、畑 ○ニセコ町字豊里 ・景観要素：ダチョウ牧場、ニセコアンヌプリ、羊蹄山
	羊蹄山ビューポイント	国道沿いに羊蹄山が美しく見える場所に駐車場を整備(字黒川、字宮田)
動・植物	高山植物帯	羊蹄山の頂上付近にある高山植物帯。周囲2kmの火口付近は花畑になっている。山麓にはカラマツやトドマツなどの雑木林、七合目からはハイマツ帯になっている
	景観作物	ひまわり、キカラシなど
	動物	アカゲラ、アオサギ、クマタカ、エゾリス、キタキツネ、エゾサンショウウオなど
	その他	じゃがいもの花、麦などの作物
公園・キャンプ場	有島記念公園	有島記念館に隣接し、花や羊蹄山の撮影ポイントになっている
	ニセコアンヌプリ森林公園	木立の中に散策路が整備されており、森林浴やバードウォッチングを楽しむことができる
	曾我森林公園	市街地に隣接し、花木の広場や多目的広場が整備されている。記念碑の丘からは羊蹄山が一望できる
	ニセコ野営場	豊かな自然環境の中にあるキャンプ場。ニセコアンヌプリの登山基地としても親しまれている

分類	一般名称	説明文
文化施設	有島記念館	有島武郎生誕 100 年を記念して建設。館内では写真、書簡、書、絵画、初版本など貴重な資料を展示。有島タワーからは羊蹄山、ニセコ連山を一望できる
	有島灌漑用水	有島共生農団が作った有島灌漑用水は、歴史的価値のある施設。現在も用水として利用されている
	駅前倉庫群	羊蹄山麓地域の農産物の集積地として栄えたニセコ駅の往年の姿を伝える石造りの倉庫群
	転車台	初代 SL ニセコ号 (C62-3) が方向転換するために設置された転車台。現在は本線から切り離されている
	ニセコ山頂観測所跡	先の大戦で軍用機の翼に着く氷を研究するため、ニセコアンヌプリ山頂に試験場が設置された。そのとき設置されたゼロ戦を固定する台座や電源ケーブルが今も残る
	ストーンサークル	曾我北栄環状列石はニセコアンヌプリや羊蹄山が一望できる景勝の地にあり、3,000 年ほど前の先住民が築造した墳墓と推定されている
イベント	シーニックナイト	ニセコの夜をスノーランタンで幻想的に灯すイベント。雪のオブジェのほか、屋台や打上花火も実施。
	「七夕のタベ」 花火大会	子供たちに夏の思い出を残すため商工会青年部が始めたイベント。近くから見ることのできる花火は圧巻
	道の駅ニセコビュー プラザ誕生祭	完熟トマト、メロンなどニセコの新鮮野菜などがあたるくじ引き抽選会やヒルトンニセコビレッジ料理長による地元野菜を使った料理提供など
	ニセコマラソン フェスティバル	陸上競技場をメイン会場に開催しているマラソン大会。ハーフ・10km・3.5km の 3 コースがある
	食べ菜！遊び菜！ ニセコ収穫祭♪	農産品の産地である利点を生かし、おいしい食材をおいしい料理に変えて提供するイベント
	ニセコフェスティバル	ニセコのさまざまな魅力をメニュー化し、誰でも気軽にニセコを満喫できるイベント。
スポーツ 施設	ゴルフ場	2 ヲ所 (ニセコビレッジゴルフコース、ニセコゴルフコース)
	パークゴルフ場	4 ヲ所 (運動公園、ニセコアンヌプリ森林公園、ニセコパークゴルフ場、ニセコビレッジ)
	陸上競技場	面積 8,997 m <sup>2</sup> 。日本陸連 4 種公認 1 周 300m の 8 コース
	総合体育館	面積 2,556 m <sup>2</sup> 。アリーナ、格技室、研修室、トレーニング室、放送室、更衣室 (シャワー付)
	スキー場	3 ヲ所 (ニセコビレッジスキーリゾート、ニセコアンヌプリ国際スキー場、モイワスキーリゾート)

分類	一般名称	説明文																					
温泉	ニセコ五色温泉郷	泉質：含硫黄－マグネシウム・ナトリウム－硫酸塩・塩化物泉（五色温泉、ニセコ山の家）																					
	ニセコ東山温泉	泉質：ナトリウム－炭酸水素塩・硫酸塩泉（ヒルトンニセコビレッジ、ザ・グリーンリーフホテル）																					
	ニセコ昆布温泉郷	泉質：ナトリウム－塩化物・炭酸水素塩泉、鉄鉱泉、含硫黄－ナトリウム・カルシウム－塩化物・炭酸水素塩・硫酸塩泉（甘露の森、ニセコグランドホテル、ワンニセコ、あしりニセコ→鶴雅別荘の抄）																					
	アンヌプリ温泉郷	泉質：ナトリウム－炭酸水素塩泉・硫酸塩・塩化物泉（いこの村、ニセコノーザンリゾートアンヌプリ、湯心亭）																					
	ニセコ駅前温泉	泉質：ナトリウム－塩化物・炭酸水素塩泉（綺羅乃湯）																					
地場産品	農産物	じゃがいも、米、カボチャ、メロン、アスパラ、トマトなど																					
	乳製品	チーズ、のむヨーグルト、アイスクリーム、プリンなど																					
	その他	日本酒（蔵人衆）、山菜、蔵人衆ラインナップ（まんじゅう、どらやき、ようかん、せんべいなど）																					
アクティビティ	アウトドア	スキーガイド、ゴルフ、トレッキング、ラフティング、マウンテンバイク・サイクリング、カヌー、スカイスポーツ、乗馬、釣り、収穫体験など （主な事業所）16カ所 ※宿泊事業者を除く																					
	インドア	食品づくり、ガラス細工、陶芸、各種クラフト （主な事業所）7カ所 ※アウトドア事業者、飲食店、宿泊事業者を除く																					
宿泊施設	<p>大型ホテルや旅館、ペンション、ロッジなど多彩な施設がある</p> <p>○ニセコ町の宿泊施設数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地区</th> <th>軒数</th> <th>収容人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市街地</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>アンヌプリ</td> <td>26</td> <td>1,236</td> </tr> <tr> <td>五色・昆布・モイワ</td> <td>16</td> <td>1,626</td> </tr> <tr> <td>曾我・東山</td> <td>24</td> <td>2,430</td> </tr> <tr> <td>周辺地域</td> <td>6</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>総数</td> <td>72</td> <td>5,341</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">出所：ニセコ町観光ガイド 平成24年度版</p>		地区	軒数	収容人数	市街地	0	0	アンヌプリ	26	1,236	五色・昆布・モイワ	16	1,626	曾我・東山	24	2,430	周辺地域	6	49	総数	72	5,341
地区	軒数	収容人数																					
市街地	0	0																					
アンヌプリ	26	1,236																					
五色・昆布・モイワ	16	1,626																					
曾我・東山	24	2,430																					
周辺地域	6	49																					
総数	72	5,341																					

分類	説明文															
飲食店	<p>スキー場周辺のほか、市街地などに飲食店が集まっている</p> <p>○ニセコ町の飲食店数</p> <table border="1" data-bbox="544 434 983 736"> <thead> <tr> <th>地 区</th> <th>軒 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市街地</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>アンヌプリ</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>五色・昆布・モイワ</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>曾我・東山</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>周辺地域</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>総 数</td> <td>57</td> </tr> </tbody> </table> <p>出所：ニセコ町観光ガイド 平成 24 年度版</p>		地 区	軒 数	市街地	18	アンヌプリ	7	五色・昆布・モイワ	0	曾我・東山	21	周辺地域	11	総 数	57
地 区	軒 数															
市街地	18															
アンヌプリ	7															
五色・昆布・モイワ	0															
曾我・東山	21															
周辺地域	11															
総 数	57															
ギャラリー	ガラス、メタルクラフト、陶芸、トールペイント写真など (主な事業所) 6 ヶ所															
土産店	ガラス工芸、クラフト等など (主な事業所) 3 ヶ所															
直売所	ニセコビュープラザ直売会、ニセコ野菜耕房`S、里見直売所															
その他施設	綺羅街道	ニセコ町のメインストリートとして、羊蹄山やニセコ山系の大自然と調和したゆとりある市街景観を形成。電柱が地中化された街路は花で飾られ、道行く人の目を楽しませる														
	道の駅「ニセコビュープラザ」	ニセコ町のランドマークとして、国道 5 号沿いに整備された施設。地域の観光インフォメーション機能を担うほか、併設された農産物直売所では新鮮な農産品を提供する														

#### (4) 広域観光資源

ニセコ町を中心とした羊蹄山麓地域やそれを含む後志管内は、多くの優れた観光資源に恵まれています。蝦夷富士と称される羊蹄山やニセコ連峰などの山々、神秘的な美しさを持つ神威岬などは「支笏洞爺国立公園」と「ニセコ積丹小樽海岸国定公園」に指定されるなど、貴重な自然環境が身近にある場所です。また、多様な泉質を誇る温泉はニセコ町、倶知安町、蘭越町に多くが集積しています。さらに、ニセコ近隣にはルスツリゾート（留寿都村）やキロロスノーワールド（赤井川村）といった大型スキー施設があり、国内有数のリゾートエリアを形成しています。この他にも小樽運河のような歴史的建造が立ち並ぶ小樽市や、有島記念館のように地域に由来のある文化施設が各市町村に点在しています。

周辺地域における観光資源の立地状況

##### ■ 自然資源



##### ■ 温泉



##### ■ レジャー施設



##### ■ 観光・文化施設



## 2-3. 立地環境・交通アクセス

### (1) ニセコ町へのアクセス

ニセコ町は、道央の西部、後志管内のほぼ中央に位置し、道内最大都市である札幌市からは車で約2時間、道内有数の観光地である小樽市から約1時間半、空の玄関口である新千歳空港から約2時間の距離にあります。

公共交通によるアクセスは、鉄道、バスが主な手段となっています。乗用車やレンタカー利用が進む一方で、公共交通の更なる充実が課題となっています。

#### [交通アクセス]

##### ■自家用車・レンタカー

札幌市	国道230(中山峠を經由)→道道97→道道66	約120分
小樽市		約90分
千歳市	道道16→国道276(美笈峠を經由)→道道97→道道66	約120分
苫小牧市	国道276(美笈峠を經由)→道道97→道道66	約110分
室蘭市	国道37→国道453→道道2→国道230→道道66	約100分
函館市	国道5	約180分

##### ■鉄道

札幌・小樽方面	千歳→札幌→小樽	約90分
	小樽→ニセコ 通年1~2時間に1本程度運行	約120分
	その他、夏期冬期の期間限定の特急列車の運行 夏のヌプリ号、冬のヌプリ号、ニセコエクスプレス、SLニセコ号等	
長万部方面	長万部→ニセコ 通年1~2時間に1本程度運行	約90分

##### ■バス

小樽・札幌方面	札幌→小樽→ニセコ 通年1日8往復	約170分
札幌方面	【冬季間のみ】札幌→定山渓→留寿都→倶知安→ニセコ 1時間に数本	約240分
千歳方面	千歳⇄ニセコ 7・8月のみ 1日2往復 冬季 1時間に数本(各社で運行)	約200分



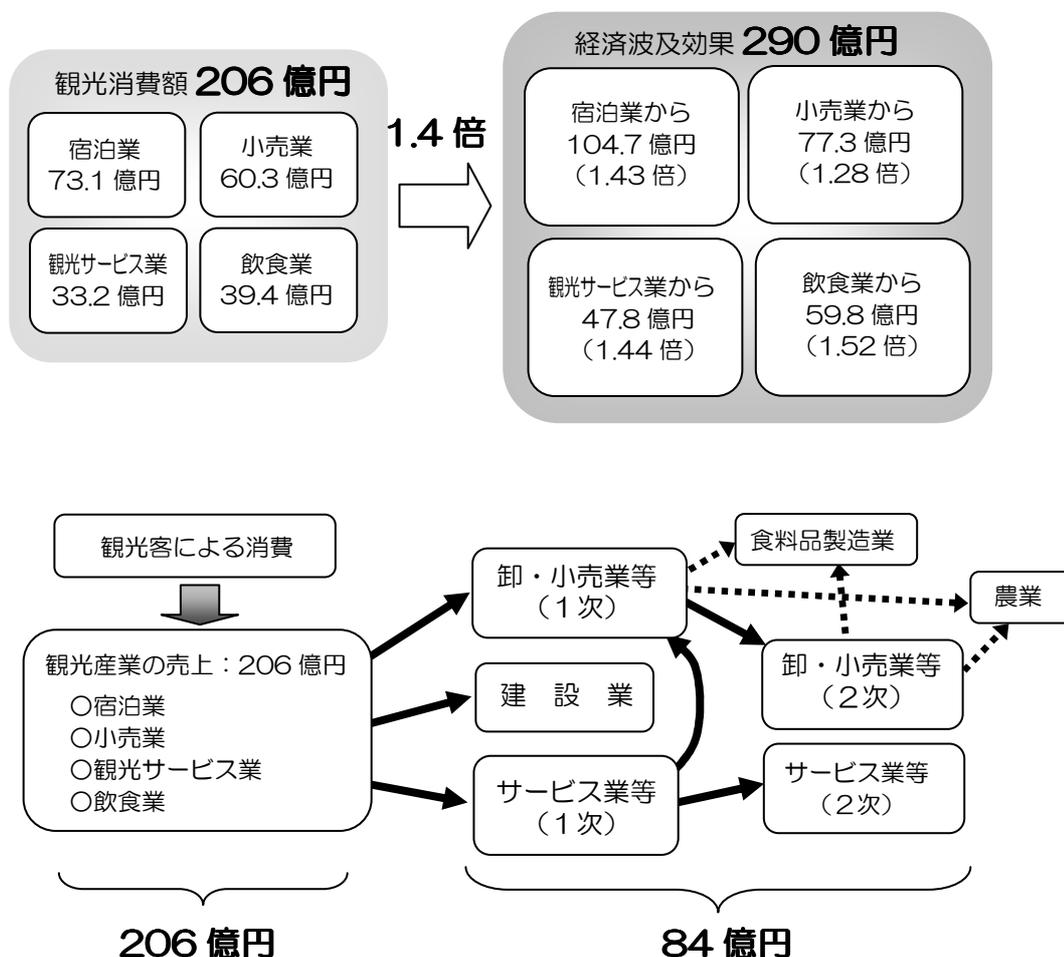
## 2-4. 観光産業が及ぼす経済波及効果

### (1) ニセコ・羊蹄地域における観光産業の経済効果

平成18年「観光産業の経済効果に関する調査報告書」(北海道経済産業局)では、ニセコ・羊蹄地域(倶知安町、ニセコ町、蘭越町、京極町、喜茂別町、真狩村。以下、「域内」という)をモデル地域として観光産業の経済効果を試算し、以下のような結果を示しています。

- 域内の**観光消費額は206億円**と推計
- 観光消費が地域にもたらす**経済波及効果 観光消費額の1.4倍(+84億円)**。
- 域内の卸・小売業、製造業、サービス業の7割、建設業の5割が観光産業と取引をしており、**観光産業は地域にとって大きな経済的役割と広がりをもっている**。
- 観光による経済効果、雇用創出効果等は**周辺地域で大きく波及する**。

観光経済波及効果



出所：平成18年「観光産業の経済効果に関する調査報告書」(北海道経済産業局)

## (2) ニセコ町における観光産業

### ①観光産業の経済効果に関する調査報告書（平成18年）

平成18年「観光産業の経済効果に関する調査報告書」（北海道経済産業局）に基づき、ニセコ町の観光消費額を試算すると93億4,000万円になります。この額はもう一つの主要産業である農業生産額を大きく上回っており、観光産業は地域経済を支える重要な役割を担っています。地域を持続させるためには、それを支える経済活動が必要であり、産業の裾野が広い観光産業を発展させることがニセコ町にとっては重要なことです。また、同時に地域内で発生した観光消費を地域内で循環させることで、さらなる効果が期待されます。

ニセコ町の経済指標（参考）

指標	規模	出所
農業生産額	23億5,000万円	北海道農林水産統計年報（H17）
商品販売額	40億4,000万円	商業統計調査（H16）
観光消費額	93億4,000万円	観光産業の経済効果に関する調査（H18）より試算

### 【観光消費額の算出】

- ・観光消費額は、「観光入り込み数」に「1人あたり観光消費額」を乗じて算出
- ・「観光入り込み数」は、「日帰り客数」と「宿泊客延数」を用いる

図表① 観光客入り込み数（平成16年度）

(単位:千人)

夏季(5月～10月)		冬季(11月～4月)	
日帰客	宿泊客	日帰客	宿泊客
597.3	245.2	500.3	248.8

図表② 1人あたり観光消費額の設定

(単位:円)

	夏季(5月～10月)		冬季(11月～4月)	
	日帰客	宿泊客	日帰客	宿泊客
宿泊	—	6,500	—	6,500
小売	2,000	3,500	2,000	3,500
観光サービス	200	1,200	1,200	3,200
飲食	1,400	2,200	1,400	2,200

資料:「第4回北海道観光産業経済効果調査」(北海道)  
「ニセコ・羊蹄地域振興計画策定調査」(はまなす財団)  
を参考に設定

図表③ 観光客消費額の算出結果

(単位:百万円)

	夏季(5月～10月)		冬季(11月～4月)		年間合計
	日帰客	宿泊客	日帰客	宿泊客	
宿泊	—	1,594	—	1,617	3,211
小売	597	858	500	871	2,826
観光サービス	60	294	300	796	1,450
飲食	418	539	350	547	1,854
合計	1,075	3,285	1,150	3,831	9,341

注) 日帰客は、日帰客数×0.5×1人当りの観光消費額  
宿泊客は、宿泊客数(延数)×1人当りの観光消費額

②観光客満足度調査（平成22年夏期、平成23年冬期）

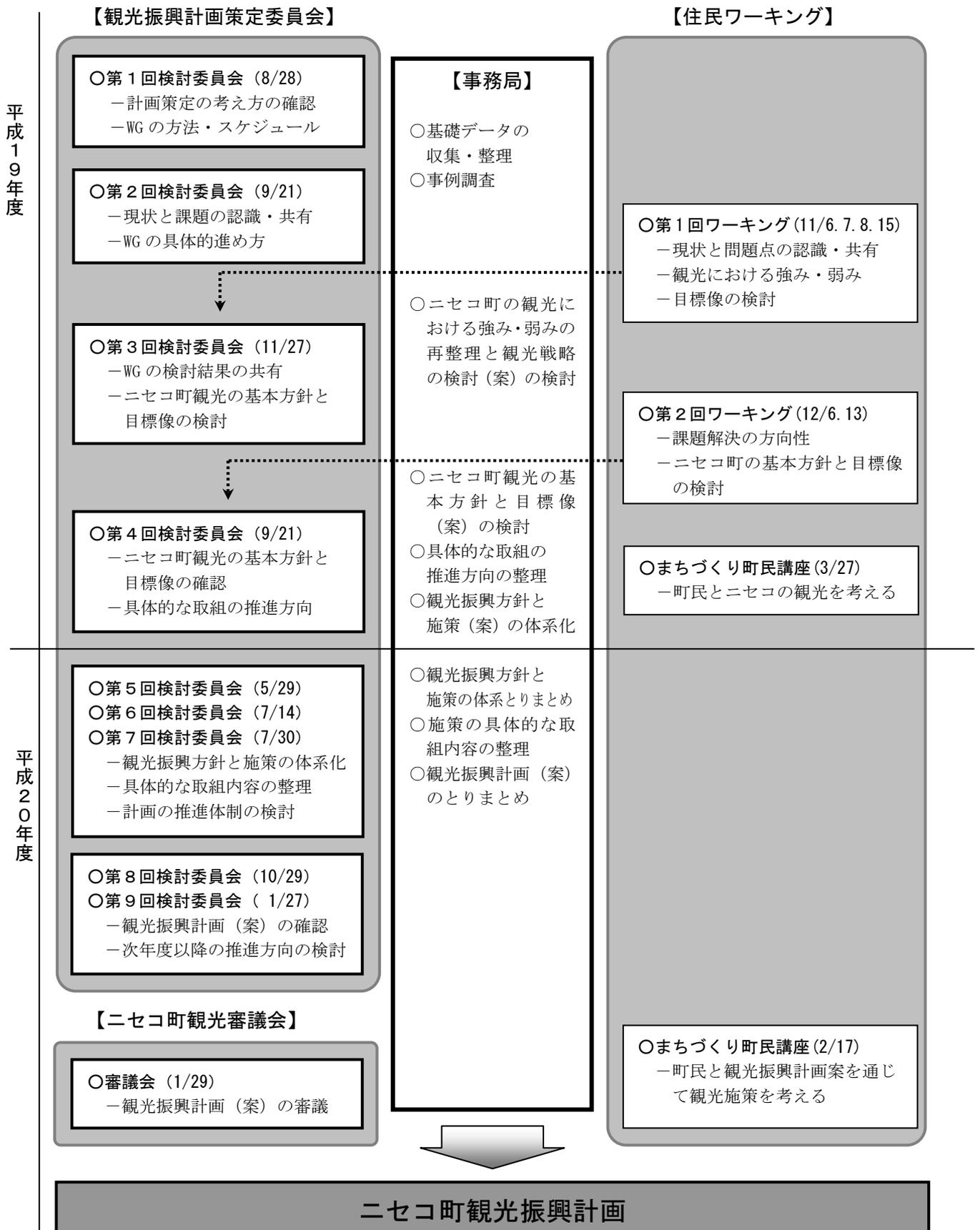
「観光客満足度調査」（平成22年冬期、平成23年夏期 両調査ともに株式会社ヤマト、財団法人日本交通公社）によると、ニセコを訪れた観光客の平均総消費額は夏期43,566円、冬期58,672円となっており、夏期が1.5万円ほど低くなっています。

その他資料編

参考資料1 ニセコ町観光振興計画策定委員会 名簿

氏 名	所 属 等
渡 部 誠 二	田舎宿 キートス (委員長)
新 郷 慶 太	ホテル甘露の森 (副委員長)
加 藤 淳	(株)ニセコリゾート観光協会
片 岡 直 人	ニセコ町商工会 青年部長
汾 陽 光 次 郎	(有)グリーンプランニング
小 泉 真 利	農業
近 藤 孝 志	ニセコチーズ工房 (有)
中 島 日 出 男	ホテルリゾートインニセコ
永 野 元 紀	公募委員
南 重 光	ニセコアウトドアセンター
渡 辺 浩 樹	ニセコノーザンリゾートアンヌプリ

参考資料2 計画策定の進め方



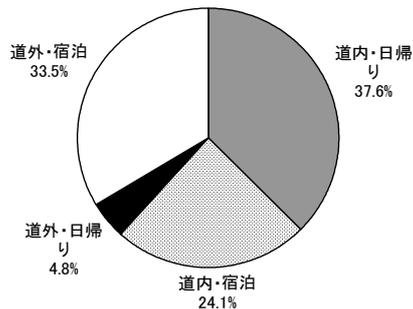
参考資料3

ニセコ・羊蹄観光マーケティング調査の概要

調査方法	あらかじめ設定した調査地点において、調査員（または宿泊施設従業者）によるアンケート票の配布を行い、調査票を郵送回収。
調査地点	<ul style="list-style-type: none"> <li>●施設：ふきだし公園（京極町）、コンビニエンスストア（倶知安町）、ニセコビュープラザ（ニセコ町）、サンスポーツランド（倶知安町・夏季のみ）</li> <li>●駅：ニセコ駅、倶知安駅</li> <li>●スキー場等：〔夏季〕ホテル、ペンション等の宿泊施設 〔冬季〕スキー場（ひらふ、東山、アンヌプリ）、宿泊施設</li> </ul>
調査日／回収数	<p>〔夏季〕平成16年7月30日（金）～8月8日（日） ・回収数：1,789票／回収率：30.2%</p> <p>〔冬季〕平成17年1月7日（金）～1月27日（日） ・回収数：（立ち寄り施設）1,105票／回収率：40.2% （宿泊施設）：311票／回収率：10.3%</p>

①顧客の傾向

観光客（夏季：7/30～8/8）の内訳（N=1,789）



道内客 居住地市町村トップ5

1位	札幌市	46.4%
2位	小樽市	5.3%
3位	江別市	4.8%
4位	函館市	4.7%
5位	苫小牧市	4.4%

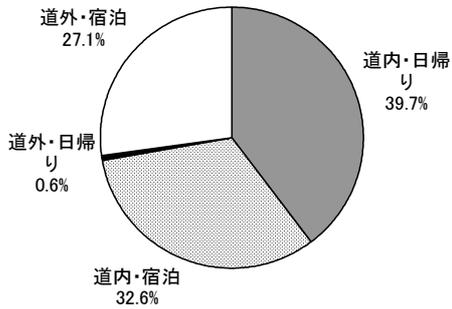
道外客 居住地都道府県トップ

1位	東京都	18.1%
2位	神奈川県	16.9%
3位	大阪府	9.3%
4位	埼玉県	8.6%
5位	千葉県	7.0%

■夏季の顧客層

	道内日帰り客	道内宿泊客	道外客（日帰り・宿泊）
年齢構成	1位：50代（31.6%） 2位：60代（27.0%） 3位：30代（14.1%）	1位：40代（27.2%） 2位：50代（22.1%） 3位：60代（17.6%）	1位：40代（31.6%） 2位：30代（25.4%） 3位：50代（18.5%）
同行者	1位：夫婦（39.1%） 2位：家族旅行※（15.2%） 3位：友人や知人（14.1%） （※夫婦、子ども連れ、親、親子孫の3世代のいずれにもあてはまらない家族旅行）	1位：夫婦（27.6%） 2位：家族旅行※（18.9%） 3位：小さな子ども連れ（14.9%）	1位：小さな子ども連れ（25.2%） 2位：夫婦（20.4%） 3位：家族旅行※（18.8%）
来訪頻度	8割以上が「5回以上」訪れており、約6割が「10回以上」訪れている。 ほとんど全員がリピーター	6割以上が「5回以上」訪れており、約3割が「10回以上」訪れている。	約5割が「初めて」訪れている。

観光客（冬季：1/7～1/27）の内訳（N=1,103）



道内客 居住地市町村トップ5

1位	札幌市	42.0%
2位	小樽市	6.4%
3位	倶知安町	6.1%
4位	室蘭市	4.6%
5位	苫小牧市	4.0%

道外客 居住地都道府県トップ

1位	東京都	20.4%
2位	神奈川県	17.3%
3位	大阪府	12.2%
4位	兵庫県	8.2%
5位	千葉県	6.5%

■冬季の顧客層

	道内日帰り客	道内宿泊客	道外客（日帰り・宿泊）
年齢構成	1位：50代（21.9%） 2位：60代（18.6%） 3位：30代（16.4%）	1位：20代（22.7%） 2位：30代（19.5%） 3位：40代（16.8%）	1位：20代（36.1%） 2位：30代（26.9%） 3位：60代（10.0%）
同行者	1位：夫婦（33.3%） 2位：ひとり（16.0%） 3位：友人や知人（12.4%）	1位：夫婦（22.5%） 2位：小さな子ども連れ（15.4%） 3位：友人や知人（14.0%）	1位：友人や知人（29.5%） 2位：夫婦（22.9%） 3位：職場関係者（11.3%）
来訪頻度	8割以上が「5回以上」訪れており、約7割が「10回以上」訪れている。 ほとんど全員がリピーター。	7割以上が「5回以上」訪れており、約5割が「10回以上」訪れている。	約4割が「初めて」訪れている。

●道内日帰り客

- ・約5割が札幌から。熟年層、夫婦旅行が多い。
- ・夏季、冬季ともに地元農産物や加工品等の買物や温泉を楽しむ。
- ・自家用車を利用し、ほとんどが旅行会社を利用しない個人やグループ旅行。
- ・ほとんどが何度も訪れているリピーター。

●道内宿泊客

- ・札幌からの宿泊客が多い。夏季は、温泉等を楽しむ夫婦や家族連れ、冬季はスキーを目的に友人や知人と訪れる若者層が多い。
- ・自家用車を利用し、ほとんどが旅行会社を利用しない個人やグループ旅行。
- ・何度か訪れているリピーターが多い。

●道外客

- ・約4割が首都圏から。夏季は小さな子どものいる家族が中心。冬季はスキーを目的に友人や知人と訪れる若者層が多い。
- ・夏季はレンタカーを利用するなどして観光地や名所めぐりに参加。冬季は友人や知人とスキーツアーバスで訪れる若者層が多い。
- ・4～5割が「初めて」訪れる。

観光客の比較

	道内	道外客
<b>日帰り客の滞在時間</b>		
夏季	平均 3.8 時間	平均 4.1 時間
冬季	平均 4.1 時間	—
<b>宿泊数</b>		
夏季	平均 1.3 泊	平均 1.7 泊
冬季	平均 2.6 泊	平均 4.2 泊
<b>利用交通機関</b>		
夏季	自家用車が約 9 割	レンタカー利用が約 6 割
冬季	自家用車が約 9 割	スキーバスが約 6 割
<b>旅行会社利用</b>		
夏季	約 9 割が旅行会社を利用しない個人・グループ旅行	約 6 割が旅行会社を利用しない個人・グループ旅行、4 割が旅行会社の自由行動型パック旅行の利用
冬季		全体の 6 割以上が旅行会社を利用

	道内日帰り客	道内宿泊客	道外客
<b>活動内容</b>			
夏季	1 位：買物 (地元の農産物や加工品) 2 位：食事 (昼食) 3 位：温泉 (日帰り)	1 位：温泉 (宿泊) 2 位：買物 (地元の農産物や加工品) 3 位：食事 (昼食)	1 位：観光地や名所めぐり 2 位：買物 (地元の農産物や加工品) 3 位：食事 (昼食)
冬季	1 位：温泉 (日帰り) 2 位：食事 (昼食) 3 位：買物 (地元の農産物や加工品)	1 位：スキー 2 位：食事 (昼食) 3 位：温泉 (宿泊)	1 位：食事 (昼食) 2 位：食事 (夕食) 3 位：スキー
<b>ニセコへの期待 (※複数回答)</b>			
夏季	1 位：美しい自然景観・ 景色や眺望 (76.7%) 2 位：地元農産物の購入 (62.7%) 3 位：温泉 (45.8%)	1 位：美しい自然景観・ 景色や眺望 (79.5%) 2 位：温泉 (71.2%) 3 位：休養やリラックス できる時間 (48.8%)	1 位：美しい自然景観・ 景色や眺望 (84.5%) 2 位：温泉 (50.2%) 3 位：過ごしやすい気候 (44.8%)
冬季	1 位：温泉 (55.2%) 2 位：美しい自然景観・ 景色や眺望 (55.0%) 3 位：地元農産物の購入 (40.6%)	1 位：温泉 (68.1%) 2 位：美しい自然景観・ 景色や眺望 (56.0%) 3 位：雪質 (46.0%)	1 位：雪質 (77.0%) 2 位：雪景色・雪のある 風景 (55.6%) 3 位：温泉 (53.3%)

参考資料4 ニセコ町観光戦略会議 名簿（平成24年度）

氏 名	所 属 等
渡 辺 浩 樹	ニセコノーザンリゾートアンヌプリ（座長）
大久保 実	北海道トラックス
葛西 奈津子	K s W O R K S
檜 原 文	丸和農産
片岡 直人	片岡左官
加 藤 淳	(株)ニセコリゾート観光協会
北島 常雄	童夢
木下 裕三	(株)ヤマト
関 規 明	ニセコフロマージュ
滝澤 洋美	ヒルトンニセコビレッジ
服部 吉弘	L a L a L a F a r m
宮 崎 亘	N I S E K O 塙
吉村 政哉	ニセコモイワスキーリゾート

参考資料5 ニセコ町観光審議会 名簿（平成24年度）

氏 名	所 属 等
大野 幸一	ようてい農業協同組合ニセコ支所
中島 日出男	(株)ニセコリゾート観光協会
工藤 達人	ニセコ町商工会
高林 永次	ニセコバス(株)
小原 久志	ニセコ町議会
岩田 光代	ヒルトンニセコビレッジ
下田 伸一	北海道ライオンアドベンチャー
高井 啓	ニセコミルク工房
田中 栄一	ニセコビレッジ
千葉 泰宣	セゾンクラブ
牧野 雅之	(株)キラットニセコ
松本 恵子	居酒屋 松
三浦 裕一	ニセコビュープラザ直売会
渡辺 浩樹	ニセコ町観光戦略会議

## ニセコ町観光振興計画

---

発 行 平成 2 1 年 3 月 発行  
平成 2 5 年 3 月 改訂  
発行者 ニセコ町  
〒048-1595  
北海道虻田郡ニセコ町字富士見 4 7 番地  
Tel. 0136-44-2121 Fax 0136-44-3500  
URL <http://www.town.niseko.lg.jp/>  
編 集 ニセコ町商工観光課

---